

取組概要

東雲中学校では、「自他のよさを認め合い、説明する力と思いやりの心をもった生徒の育成」を目指し、総合的な学習の時間を中心に他者と関わる学習を展開するとともに、単元構想に基づき、「必然性をもった話し合い活動」の充実や生徒スピーチに取り組んでいる。

工夫・ポイント

- 【学校マネジメントの工夫】
- ◆全校生徒とS Cとの面談や、週1回の会議において生徒の情報共有を行う体制を構築している。
- ◆体力を高めるための全校トレーニングの取組について、生徒自身が目標を設定して取り組み、目標を更新したり、生徒による授業評価アンケートの取組を授業改善につなげたりしている。

特徴的な活動

- ◆外部の専門期間・人材等と協働しながら、地域の「鯛山」を地質・植生等の科学的な視点から捉える学習や、プラゴミアート等による環境についての学習等、探究活動を充実させている。
(令和4年度OITAふるさと学習交流会で学習成果を発表)

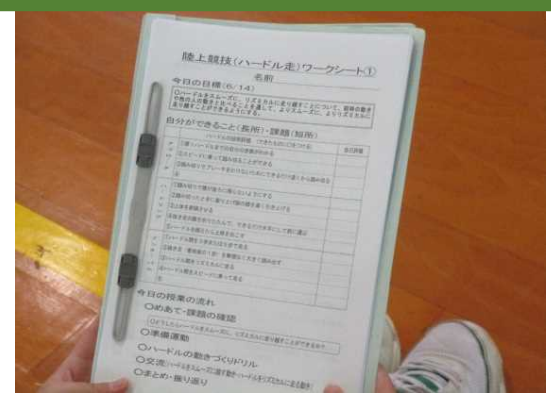
関係者の声

- ◆達成指標の客観性を高めるため、例えば「自分の思いや考えを伝えることができている」達成指標について、教師や外部人材等による外部評価を検証・改善の視点として位置付けることや、表現力の育成のため他校との交流の場を設定することが考えられる。
- ◆小中が連携した取組を推進するため、主任同士のつながりや連携体制を構築し、協働した取組を行うことも考えられる。

動画で自分の動きを確認



自分の状態を把握できる自己評価表



手作りパンフレット「鯛山」



本時の課題設定の工夫

